

高橋まさかず 市長活動報告

VOL.4

■発行日：2020年1月
■発行元：高橋まさかず後援会

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、令和2年の希望に満ちた新春を迎えておられる事とお慶び申し上げます。市長に就任して、早いもので任期の半分が過ぎようとしています。この2年間の私の活動に対し、多くのご理解と激励を頂き感謝申し上げます。市民の皆様から寄せられた市政への期待と様々な要望に接し、改めて大きな責任を痛感している所でございます。

昨年は台風15号、19号の被災状況を目のあたりにし市民の安全・安心がいかほど大切なものであるかを実感致しました。様々な課題がある中でその解決に向け、着実に一歩ずつ有効な施策を実行していきたいと考えています。我がまち秦野の新時代が、明るく夢多きものになる様にさらなる努力を重ねて参ります。

本年も昨年同様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

秦野市長 高橋 昌和



HAPPY NEW YEAR

2020



任期の半ばを迎えて

新春を迎え、ご家族皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃の皆様の後援会活動への力強いご協力に対し、心より感謝申し上げます。市長の日々の生活は、多岐にわたる市政運営、国・県への陳情、様々な行事への出席等きわめて多忙な状況にあります。市長は、強靱な体力と精神力で秦野市発展のために、初心を忘れることなく前進しています。

高橋まさかず後援会は、各種の会議を定期的で開催して運営強化に努めております。さらに市内各地区での市長との懇談会も新年にかけて開催し、市民一人一人の小さな声にも耳を傾けたいと計画しております。しっかりとした後援会組織は、高橋市政をより確か度高質なものと推し進めます。引き続き皆様の温かなご支援をお願い申し上げます。

高橋まさかず後援会
会長 三杉 克篤

高橋まさかず 5つの誓い

1 地域医療の充実・強化

市民が安心できる地域医療体制にするため、妊娠、出産、子育て、成人期の各ステージに応じた新たな取り組みを進めています。出産後の支援では、産後間もない母親の心身をケアするため、「日帰り型産後ケア事業（市直営）」を開始したほか、小児医療費の通院助成の対象を中学3年生までに拡大しました。成人の健康増進策として、東海大学との協働による「地域巡回型健康バス事業」をはじめ、県との連携により未病センターを開設したほか、75歳以上の希望者全員が人間ドッグ受診の補助を受けられるよう制度を改めました。秦野赤十字病院の分娩業務の再開に向けて、病院幹部や医師派遣の大学医局と顔の見える信頼関係を築きながら、医師確保に取り組んでいます。引き続き、様々な可能性を探っていきます。

2 中学校給食の完全実施

学校給食は、育ち盛りの子供達にバランスのとれた食事を提供するだけでなく、食や食に携わる人々への「感謝の心」を育み、食を通じて地域を知ることで「故郷を愛する心」を育む「食育の視点」が大切だと考えています。そして、「地場産業」との連携による「地産地消の推進」も不可欠です。現在、令和3年12月に「生徒が喜ぶ秦野らしい中学校給食」を実現するため、その準備を着々と進めています。提供方式は、保護者や学校の意見も踏まえた「センター方式」とし、事業用地は旧水道局庁舎の跡地を選定しました。また、給食センターの建設は、民間活力を最大限に生かした「公民連携による秦野方式」としたことで、財政負担を極力抑えながら、質の高い中学校給食の実現を可能としました。

3 教育水準の改善・向上

まず優先して取り組むべき課題は、教職員の多忙化対策だと思えます。そこで、今年度から、教育委員会に新たな部署を設け、学校への支援体制を充実させました。また、教職員が授業改善や児童生徒に向き合う時間確保など「本来業務」に専念できるよう、学校運営を補助するためのスクールサポートスタッフを全ての中学校区に配置しました。引き続き、教職員の意識改革と授業力向上を図りながら、学校の業務改善に取り組み、教育水準の改善・向上につなげていきます。さらに、地域と共に歩む学校づくりを推し進めるとともに、「ひろはた自習・相談室」のような、地域の力を活かした寺子屋事業が全市的に広がるよう、積極的に支援していきます。

4 小田急4駅周辺のにぎわい創造

4駅整備の総仕上げとして、令和3年度に東海大学前駅北口をバリアフリー化するため、エレベーター・エスカレーターの設置に向けて準備を進めています。また、県と連携しながら秦野駅北口を起点とする県道705号の用地交渉を進め、地元のまちづくり活動とも連動させながら、早期整備の実現を目指しています。これらハード整備を活かし、にぎわい創造につなげるため、4駅を起点終点とするツアーを開催し、秦野の魅力発信とまちのブランド化に取り組んでいます。4駅にはそれぞれ、「温泉」、「大学」、「市の玄関口」、「表丹沢」などの魅力ある資源がたくさんあります。国登録有形文化財や商店会イベントを巡る「まち歩き」ルートなど、地域資源を掘り起こし、にぎわい創造につなげる本物の魅力づくりに取り組み、地域経済の好循環につなげていきます。

5 新東名・246バイパスの最大活用

新東名の開通を市発展の絶好の機会と捉え、産業・地域振興の両面から、最大活用する取り組みを進めています。産業振興策として、新たな雇用創出に向けて、戸川地区土地区画整理準備組合の支援を行い、企業誘致を進めています。地域振興策として、表丹沢の魅力を最大限活かすため、東側のヤビツ峠周辺から西側の秦野IC周辺までの表丹沢一帯で、農林業、観光、文化、歴史、スポーツなど、様々な分野の資源を結びつけた「表丹沢魅力づくり構想」の策定を進めています。また、県立秦野戸川公園では、県と連携し、スポーツクライミング施設の整備を進めています。4月には、「はだの丹沢クライミングパーク」として、ボルダリング施設がオープンします。そして、現・新東名をつなぎ、災害時の重要路線にもなる国道246号バイパスの全線事業化に向けて、引き続き、県・近隣自治体と協力し、精力的に国への要望活動に取り組んでいきます。

高橋まさかず市長活動報告

[7月31日] 圏央道新東名整備促進を国土交通省に要望活動（山田技監）



[8月3日] 湘南ベルマーレフットサル秦野大会 見事!!ゴール!!



[8月3日] 住民の親睦を深めるため 各地域で納涼祭が盛大に開催（北地区）



[9月5日] 敬老の日にちなみ 高齢者宅へ100歳のお祝い訪問



[9月8日] 敬老祝賀会 施設を訪問しお祝いの言葉を述べる



[9月28日] たばこ祭にてはだのふるさと大使の吉田栄作氏とパレード



[10月1日] リニューアルなった 小田急線秦野駅で共同募金活動



[10月5日] 8月11日の山の日の一環として 山モリフェスタを県立秦野戸川公園を中心に開催



高橋まさかず市長活動報告

[10月6日] 西地区ふれあいまつりに参加



[10月27日] 消防団フェスティバル
消防団の事業を市民にPR



[11月3日] 市民の日にてはだのふるさと大使に
荻谷俊介氏を任命



[11月11日] 新東名高速道路促進協議会
促進大会であいさつ



[11月11日] 新東名高速道路促進協議会促進大会
黒岩神奈川県知事と要望



[11月16日] JAはだの農業まつりであいさつ



[11月19日] 国道246バイパス建設促進協議会で要望
義家法務副大臣に面会



[12月1日] 緑水庵紅葉ライトアップにてあいさつ

